



平成 23 年 6 月 2 日

各 位

東京都中央区日本橋蛸殻町 1 丁目 18 番 11 号
株 式 会 社 ラ ク ー ン
代 表 取 締 役 社 長 小 方 功
(コード番号：3031 東証マザーズ)
問 い 合 せ 先：
取 締 役 財 務 担 当 副 社 長 今 野 智
電 話 ： 0 3 - 5 6 5 2 - 1 7 1 1

通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 22 年 11 月 26 日の「連結決算の開始に伴う連結業績予想に関するお知らせ」で公表いたしました平成 23 年 4 月期通期の連結業績予想および、平成 22 年 6 月 4 日の「平成 22 年 4 月期決算短信（非連結）」で公表いたしました平成 23 年 4 月期通期の個別業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正（平成 22 年 5 月 1 日～平成 23 年 4 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,650	135	135	115	12,663.80 円
今回修正予想 (B)	8,057	125	116	160	17,718.18 円
増減額 (B-A)	△593	△10	△19	45	—
増減率 (%)	△6.8%	△7.4%	△14.0%	39.1%	—
(参考) 前期連結実績 (平成 22 年 4 月期)	—	—	—	—	—円

※ 上記連結業績予想数値は、株式会社トラスト&グロースの平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日の 4 ヶ月間の業績予想を取り込んだ数値です。

※ 当社は平成 22 年 12 月より連結決算に移行しております。そのため、前期連結実績がありません。

【修正の理由】

平成 23 年 4 月期は主に EC 事業の主力事業である「スーパーデリバリー」の「ブランド価値」の向上に取り組んでまいりました。この取り組みは、より質の高い「会員小売店」および「出展企業」を獲得した上で、客単価や稼働率の向上を図り、両社の継続した取引を拡大することで商品売上高を増加させていくことを目的としております。そのため、当社では、「会員小売店」および「出展企業」の審査基準を積極的に引き上げてまいりました。これにより、「会員小売店」の購入率、客単価が向上している一方で、当初想定していた以上に「会員小売店数」、「出展企業数」を絞り込む結果となりました。

当社では、審査基準の切り替えによる移行期において、一時的に売上高の増加が停滞することを予め見込んでおりましたが、当初の想定以上に新規の「会員小売店」および「出展企業」を絞り込む結果となったことで、売上高は予想を下回る見通しとなりました。しか

しながら、今後、審査基準引き上げ後の良質な「会員小売店」、「出展企業」が徐々に増加していくことが見込まれることや、質の向上と同時に「会員小売店」および「出展企業」の数を増やすことにも注力していく方針となっていることで、この問題の改善が図られると考えております。したがって、審査基準の引き上げによる売上高へのマイナスの影響は一時的なものであると考えております。

また、一方で東日本大震災の影響で、売上高は一時的に大幅に減少いたしました。現在では、時間の経過とともに回復基調となっておりますが、平成 23 年 4 月期における売上高上昇の阻害要因の一つとなりました。

これらの事象の影響により、商品売上高、会費売上高、出展基本料売上高が、予想を下回る見通しであります。

利益面についても、上記要因が影響しております。また、東日本大震災に関連して、災害による損失 6 百万円を特別損失として計上する見込みです。災害による損失には、売掛債権の未回収見込額および、被災エリアの会員小売店に対する送料をポイントバックした費用等を含んでおります。

この他、特別損失に投資有価証券評価損を 5 百万円、ソフトウェアの除却に伴う除却損を 11 百万円、ソフトウェアの減損に伴う減損損失を 17 百万円計上する見込みです。その一方で、主に当期に取得した連結子会社における繰延税金資産の増加に伴い法人税等調整額 116 百万円を計上する見込みです。これにより、当期純利益は 160 百万円（前回業績予想数値の 39.1%増）となる見込みです。

2. 当期の個別業績予想数値の修正（平成 22 年 5 月 1 日～平成 23 年 4 月 30 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,600	110	110	105	11,562.60 円
今回修正予想 (B)	8,001	80	76	53	5,909.79 円
増減額 (B-A)	△599	△30	△34	△52	—
増減率 (%)	△6.9%	△27.2%	△30.9%	△49.5%	—
(参考) 前期実績 (平成 22 年 4 月期)	7,642	102	102	108	11,909.51 円

【修正の理由】

主な理由は連結業績予想修正の理由と同様であります。

※上記の予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上